

2023年4月24日(月) 師崎 イサキ釣り 七福丸 ツレと
中潮:旧3/5 満潮06:58(158cm) 干潮13:58(16cm) 大山沖
ツレ イサキ 34cm 1尾 (よく肥えた良型) 私 0尾

大山沖で流し釣り

5時00分 集合
6時00分 出船
6時58分 満潮(158cm)
7時10分 ポイント着
(港からポイントまで1時間10分)
12時00分 場所移動
13時00分 納竿 沖上がり

【料金】 乗り合い 9,000円
アミエビのコマセ・仕掛け・氷付き
釣り座は受付順
オモリ80号・天秤・コマセカゴは、船上で借りる。

【仕掛け】 天秤吹き流し仕掛け

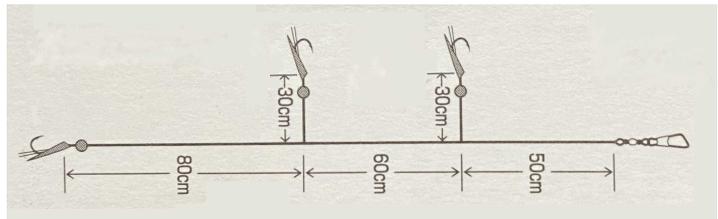
サービスの仕掛け (2セット入り)
ハリス2号幹糸2号 全長1.8m
枝30cm 間60cm
3本鉤 鉤にはスキンがついている。

持参:クッションゴム 直径1.5mm 長さ50cm

予備のおもり80号・天秤・コマセカゴは持参せず

【様子】

- 季節は早いですが、ネットでイサキが釣れ出し、数もそこそこ出ているので行くことにした。天気予報を見て3日前に予約した。
- 船は2艘出た。私たちの船は8人だった。右舷胴に入った。
- 天気は曇り、風があり、白波が立っており、うねりもあった。だんだん収まる予報であった。
- 乗船の1時間15分前に酔い止めを飲んでおいた。
- 釣り場まで1時間10分。釣り場到着まで潮がかかるのでキャビンに入るようアナウンスがあった。
- 流し釣りだった。
- 「水深44m、棚は37m。」のアナウンスと同時に実釣開始。
- 全く当たらない。船中、1名が当たったが、ばれたとのこと。
- 「掛かりが浅い、食いも立っていないので、網ですくって」とアナウンス。
- 移動を繰り返すが、あたりなし。
- 終了1時間前、「10分ほど移動します」とアナウンス。
- 「棚は27m、根掛かりするので、底まで落とさないでください」
- やっぱり当たらない。誰も当たらない。
- 終了5分前、あきらめて、置き竿にしつつ、片付けの準備を始めた。
- ツレから「当たっている」と教えてもらった。置き竿のまま、電動リールで巻き上げた。丁寧にといい、や



やゆっくり巻いた。よく引いている。水面まで上がってきた。網ですくうか迷った。網は近くにある。ツレに救うよう頼もうとしたら、ツレも掛かったようだ。抜き上げようか、…。水面まで上がってきた。“ばしゃ”ばれてしまった。結構、良型だった。

○隣でツレが抜き上げた。良型だった。

○再度、投入した。しばらくして、終了のアナウンスがあった。

○今日はまったくダメだった。釣果情報を確認しながら来ているのだが、…。前回もそうだった。なんと運がわるいことか。

【釣り方】 流し釣りであるので指示棚で待つ。ときどき竿をあおってコマセを撒く。

<前回の記録から>

※ツレを含めて他の人は10枚以上釣っていたが、自分だけ釣れなかったのは、“待てなかった”からであろう。これまでの経験から、「イサキがいればすぐに釣れてくる。」というイメージから、待たずに、棚を変えていた。今日は流し釣りであったことから、指示棚で待つということだったので。船が少し動くことで仕掛けが引っ張られ、上下1mくらいは仕掛けの位置が変わることも考慮すれば、指示棚で待つべきということだろう。

※常連さんは、指示棚で待ち、ときどき、竿をあおってコマセを撒いていた。ツレも常連さんの釣り方をまねて同様に釣っていた。

<今回の釣り方から>

①指示棚が37mだったので、仕掛けが2mあることを踏まえ、39mまで落とし、竿をあおってコマセを撒き、37mまで仕掛けを上げる。

②-1 当たらないので、もう一度2m落とし、コマセを撒いて、37mまで巻き上げる。

②-2 当たらないので、コマセを撒いて、2m巻き上げる。

③2～3回②を繰り返したら、コマセを詰めるために巻き上げる。

※終了5分前に当たりがあったことから

終了5分前、上記の①～③を終えた。当たらないので、置き竿にして、片付け始めた。

置き竿にして、ややあってから当たりがあった。

コマセを頻繁に撒くことも大切だが、仕掛けを海中に長く留めておくことも大切だと実感した。

※中乗りスタッフさんに聞いてみた

指示棚37mだとすると、40mまで落とし、竿をあおってコマセを撒き、37mまで仕掛けを上げる。

指示棚が37mとすると、おもりが水面から37mに来るようにすること。(おもりの位置で考える)

【餌をつけるか】 → 不要

○サビキ仕掛けになっているので、刺し餌はいらない。

○オキアミを付けている人がいた。この人たちは、仕掛けを底まで落として何かしら釣ったようだ。しかし、同船者でイサキを釣ったのは、ツレともう一人だけ。ばれてはしまったが、私にもイサキは掛かった。このことから、サビキ仕掛け(鉤にスキンが付いている)で掛かるので、刺し餌はいらない。